



東京 Community Power Bank 通信

NO.25 2016年11月3日発行

発行責任者:東京コミュニティパワーバンカー東京CPB—
理事長 坪井真里
〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13ASKビル 5F
電話:03-3200-9270 FAX:03-3207-1945
Eメール:community-fund@r2.dion.ne.jp
HP:<http://www.tokyo-cpb.org/>

みんなの居場所づくりの実践例見学

～ 志金循環ツアー(融資先訪問ツアー)のおしらせ ～

日時:2016年11月26日(土) 10:50~12:00 雨天決行

皆さまの“志金”が活かされている現場をみて納得していただく「志金循環ツアー」。

今回は、9月に「100%ともだち融資団」を組んで融資した「(特非)環境まちづくり NPO エコメッセ小金井店」を見学します。小金井店は『環境配慮型の店舗』を見える形で実現しようと、壁を珪藻土で塗り、植物性の床塗料を使用し、カウンターは東京檜原村産のサワラ材でという今までのエコメッセとは一味違った店づくりをしています。また、同じ建物内の隣には、みんなの居場所カフェ「まちの縁がわ『わ・おん』」が10月末に開店しました。今回はそちらも合わせて見学し、連携して進めるまちづくりの展望についても伺います。どうぞお楽しみに!



<スケジュール>

11月26日(土)
10:50: JR中央線 武蔵小金井駅改札集合
11:00: エコメッセ小金井店、まちの縁がわ「わ・おん」にて喫茶・説明
12:00: 解散予定 (「わ・おん」で昼食もできます。)

参加費:無料、喫茶代実費
申し込み先:東京CPB E-mail: community-fund@r2.dion.ne.jp

第13回東京CPB通常総会報告 (2016年6月18日)

6月18日(土)に東京CPB第13回の総会を開催しました。

総会に先立って、2015年度の融資先である「企業組合 あうん」の若畑省二代表理事からご報告をいただきました。あうんは荒川区で便利屋とリサイクルショップを運営し、失業したり就労の困難さを抱えている方たちが支え合って新たな一歩を踏み出す仕事づくりをしている団体です。今回は地域の方たちとの交流スペース等の新設のための費用の融資を行ない、それが有効に機能していること等のご報告をいただきました。



左から坪井真里、あうん若畑省二氏、植田泉

続いての総会は、出席者28名、委任状249名で、総会は成立。すべての議案が無事承認されました。

2015年度は金利の変更や2014年度から新しく始めたしくみ「東京CPB100%ともだち融資団」制度の一部変更を行いました。2016年度は第3次中期計画(2014~2019)で描いた新たな融資制度の検討の一つとして、“環境・福祉をテーマにした個人への新たな融資制度についての検討”を始めることとします。「100%ともだち融資団」を新たな分野に活用したいとのご意見も戴きました。

また規約の一部改正を行いました。これは長期間連絡がつかない会員の方の処遇についての項の新設と金融庁の指摘に基づく修正です。

また新たな1年、会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

お暑いなか、ご参加ありがとうございました

周りには誘惑がいっぱい

『お金について考えよう!』～中学での総合学習授業のプログラム～

報告：副理事長 植田泉

東京 CPB は、NPO 法人コミュニティスクールまちデザインと連携して中学校の総合学習の授業の講座として、お金の役割・大切さについて学習するプログラムを提供しています。今回は、3月に八王子市立別所中学校3年生3クラスに行なった「お金について考えよう!」の授業について報告します。

高校生になれば行動範囲も広がり、アルバイトを始めたり誘惑も多くなり、お金のトラブルに巻き込まれやすくなります。そのためにもお金の役割・使い方の意義を学びトラブル回避の知恵をこの時期に学ぶことは大変重要です。しかし、浮かれ気分の中3生を振り向かせ集中させるのはなかなか大変です。

金融広報中央委員会作成のテキストも参考資料として使いました



当日2校時分のプログラム

1、あなたの金銭感覚チェッククイズ 10分

導入の質問10問で、授業への関心をよびおこします。

2、DVD視聴「大人社会へのパスポート ～身近なマネートラブルを考えよう!～」30分

『契約』、『クレジットカード』、『悪質詐欺商法』などの模擬実例を見て、契約に伴う権利と義務、クーリングオフ制度、リボ払い・詐欺商法の注意点などを学びます。今はWEBでの課金など目に見えないお金<電子マネー>も若者には浸透しているので直近の課題内容等も説明で盛り込みました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 休 憩 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

3、ロールプレイ劇「楽しい春休みのはずだったのに」 20分

クラスごとに生徒たちに俳優になってもらいオリジナル脚本でのロールプレイを実施。

“春休みに女子生徒が町中でモデルスカウトされたことに始まり、契約金の支払いの強要やアヤシイバイトの紹介、最後にはオレオレ詐欺の片棒担ぎで警察まで登場する”という、最近のニュースを盛り込んだ無さそうで有りそうな内容。なり切り演技になったクラスは大成功!

4、クイズ：買い物判定してみよう! 20分

買い物・お金の使い方、『経費』『浪費』『投資』を学びます。携帯・スマホ料金は経費? 浪費?、バレンタインデーのチョコは経費? 投資?、お父さんの飲み代、お母さんの化粧品、外食、部活費用、入学金・授業料等々について立場の違いで議論は白熱。活発な意見がでました。

5、まとめ 5分

現代の中学生ですから、真面目に聞いていない生徒がいて進行に苦労するクラスもありましたが、まとめのアンケートには私たちの狙いを理解してくれた意見もあり、彼ら・彼女らが今回得た知識を今後時には思い出してくれるようにと願いながら授業を行ないました。

中学校での総合学習講座について、関心を持って下さりそうな学校や先生をご存知でしたらお知らせください。

あなたのお金が NPO の活動を支えています ~東京 CPB 融資報告~

	金額(千円)	場所	融資月	資金使途/事業内容
一般社団法人 福祉の会ひなたぼっこ	9,400	板橋区	4月 (6月完済)	障がい者総合支援法に基づく共同生活援助事業、グループホーム設立費用
(特非)エコメッセ (高円寺店)	1,500	世田谷区	5月 5年間	杉並区の新店舗、エコメッセ高円寺店の改装費用等。100%ともだち融資団
一般社団法人 JEAN	10,000	国分寺市	6月 (9月完済)	「海ごみ交流事業業務」長崎県からの委託事業のつなぎ資金
一般社団法人 全国ご当地エネルギー協議会	10,000	中野区	6月 10ヶ月間	平成28年度農林水産省 農山漁村第6次産業化対策事業補助事業のつなぎ資金
(特非)浜わらす	10,000	事務局 NARECは 新宿区	7月 9ヶ月間	平成28年度農林水産省 農山漁村振興交付金補助事業のつなぎ資金
宇都宮農村交流プロジェクト協議会	6,000	事務局 NARECは 新宿区	7月 9ヶ月間	平成28年度農林水産省 農山漁村振興交付金補助事業のつなぎ資金
アグリウェルフェアワーク推進協議会	10,000	事務局 NARECは 新宿区	7月 9ヶ月間	平成28年度農林水産省 農山漁村振興交付金補助事業のつなぎ資金
(特非)エコメッセ (小金井店)	2,000	世田谷区	9月 5年間	小金井市の新店舗、エコメッセ小金井店の改装費用等。100%ともだち融資団

<新任理事紹介> よろしくお願ひします!



理事 小柳 智恵さん

(東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 理事長)

はじめまして。新任理事の小柳智恵です。

東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合は、起業支援を事業のひとつとして行っていますが、事業を立ち上げる過程で、必ず検討するのは事業資金のことです。地域の人と人との繋がりのなかで事業を展開することの多い市民事業にとって、いろいろな意味で「100%ともだち融資団」は心強い仕組みで、多くの方にお伝えしていきたいと思っています。市民事業が広がっていくことを願ひ、東京 CPB 理事を努めて参ります。

よろしくお願ひします。



自分の年金についてどこまで知ってる？

年金制度を考える学習会

東京 CPB もメンバーである全国 NPO バンク連絡会では、活動の柱の一つである「悪い資金の流れを止める」活動として、今話題の年金について 2 回連続の学習会を行いました。

- ① 3/17 『私たちの年金の行方 ～年金管理運用独立行政法人（GPIF）の運用についてまなぶ勉強会～』 講師：伊藤彰久氏（日本労働組合総連合会生活福祉局）
- ② 7/24 『正しく知ろう、年金制度と年金運用のしくみー年金の基本の「き」～オーナー意識を持って考えてみよう～』 講師：水口剛氏（高崎経済大学教授）

◆政権の思惑と関連

ニュースでも話題の GPIF。毎年数兆円にも及ぶ年金運用損が出たのは、法改正により 2014 年度から株式運用の割合が 24%から 50%へと極端に増えたことが大きな理由です。GPIF という世界で 2 番目に大きい機関投資家が大幅に株を買うことは世界経済に多大な影響を及ぼします。それを見越しての安倍政権の戦略だとも言われます。結果、株価上昇・円安が起き政府の望む方向に動きました。リスクの多い株式運用が過大になるのは問題ですが、しかし損を出さないために今までのように借金である国債に頼ればよいというのも方向性としては問題です。この点についてはどの程度にすればよいか意見の分かれるところではあります。

◆市民の目での監視も必要

今まで GPIF の株式投資は、外部の資産運用会社にお任せで、結果としての増減が問題にされてきました。しかし、投資先がどのような企業なのかを知ることも必要です。今後はどこにどのように投資されているかの公開がより行なわれることが重要です。GPIF は昨年「環境・社会・ガバナンス」の要素を取り入れた「責任投資原則」に署名しました。今後はそれが実効されるよう、年金の行方を私達市民が“監視”していく意識の変革も必要だと学びました。

出資・増資について

東京CPBに出資したいという方を紹介してください。資料・加入申込書等お送りします。増資をご希望の方も、ご連絡をお待ちしています。

サポート会費について

低金利で社会的事業に融資をする東京 CPB は、皆様からのサポート会費で運営しています。ご協力お願いいたします。（一口千円とさせていただきます）

実績表 2016年9月30日現在

◆会員数・出資金

◆個人会員数：627名 ◆団体会員数：49団体

◆出資金：1億855万円

◆融資・社会的投資(2016年度)

◆融資件数：11件 ◆融資残高：5204万円

◆累計融資件数：76件 ◆融資累計額：3億6,229万円

社会的投資額：2,300万円

◆サポート会費ありがとうございます！